

## 地方創生関連交付金活用事業に対する評価（案） （令和 3 年度末時点）

### <地方創生推進交付金>

1	官民協働・地域間連携（中間支援プラットフォーム構築）による住民主体の地域づくり推進事業	1
2	酒田港の魅力を活かした賑わい向上事業	2
3	庄内空港の利便性向上による地域産業振興・インバウンド誘客拡大等推進事業	3
4	飛島振興重点プロジェクト・飛島まるごと元気活性化事業	4
5	新「世界の蔵王」プロジェクト	5
6	IoT等の先端技術導入による中小企業の生産性向上推進事業	6
7	移住定住・人材確保戦略的展開事業	7
8	雪を活かした交流拡大による地域活性化及び地域産業振興事業	8
9	「日本一美酒県 山形」推進プロジェクト	9
10	観光デジタルマーケティングの推進による訪日外国人観光消費額の拡大事業	10
11	プロフェッショナル人材を活用した中小企業成長戦略実現事業	11
12	誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業	12
13	「新しい山形の過ごし方」（県内資源の魅力を活かした滞在型観光）の提案によるインバウンド誘客促進事業	13
14	デジタル技術を活用した幸せな地域づくり推進事業	14
15	多様な「チカラ」の結集による総合的産業活性化事業	15
16	バイオ関連産業エコシステム形成促進事業	16
17	がん地域医療次世代モデル構築推進事業	17
18	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業	18
19	やまがたの未来を担う元気な農林業人材（ひと）づくりプロジェクト	19
20	収益性の高い農業の展開と県産農産物等の付加価値向上推進事業	20
21	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト～	21
22	山形県移住支援事業・マッチング支援事業、山形県地域課題解決型創業支援事業	22
23	女性・高齢者・障がい者新規就業支援事業	23

### <地方創生拠点整備交付金>

1	土地利用型作物スマート農業拠点棟整備事業	24
2	高温耐性・耐冷性検定拠点整備計画	25
3	乳製品加工施設整備計画	26
4	「園芸大国やまがた」の実現を支える園芸研究スマート拠点整備計画	27
5	IoT製品評価センター（仮称）整備計画	28
6	やまがたの園芸技術革新を実現する研究拠点整備計画	29



## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	官民協働・地域間連携(中間支援プラットフォーム構築)による住民主体の地域づくり推進事業		
事業計画期間	平成28年度～令和2年度 ※一部事業をR3に繰越		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保	県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み	多様な力の結集による地域コミュニティの維持・活性化
事業の概要	人口減少下において、地域で暮らし続けたいという住民の要望を叶えるためには、地域住民が主体となって、暮らしに必要な機能やサービスを補っていくことが重要であり、山形県・市町村・中間支援組織で中間支援プラットフォームを構築し、官民連携・地域間連携による住民主体の地域づくりを推進する。		
事業費(千円)	1,065	(うち交付金充当額)533	

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H28 増加分	H29 増加分	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	評価対象年度 (R2)までの 増加分累計	進捗 状況
中間支援プラットフォームによる住民主体の地域活動拠点(地域運営組織)形成	目標値 (箇所)	-	0	12	25	42	59	138	達成
	実績値 (箇所)	0	0	10	36	79	64	189	
任期終了した地域おこし協力隊員の本県定住率	目標値 (%)	-	1.0	1.0	2.0	8.0	13.0	25.0	達成
	実績値 (%)	40.3	23.0	9.7	△ 13.3	2.8	4.2	26.4	

### 3 今後の方針等

<p>地域ごとのプラットフォームを中心に支援を行い、設定したKPIはともに目標値を上回ることができた。今後は、プラットフォームにおいて、これまでの成果や課題、ノウハウの共有を図るとともに、継続的な支援につながるよう地域づくり人材の育成に向けた取組みを進める。</p>
---

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	地域運営組織が着実に形成されており、有効と認められる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	酒田港の魅力を活かした賑わい向上事業	
事業計画期間	平成30年度～令和2年度 ※一部事業をR3に繰越	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化
事業の概要	山形県唯一の重要港湾である酒田港の歴史、文化、景観、水産品を観光資源として魅力を向上させ、さらにインバウンド誘客を拡大し、地域の消費促進を図るとともに、雇用機会を創出し、地域の活性化を図る。	
事業費(千円)	69,915	(うち交付金充当額)34,958

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	評価対象年度 (R2)までの 増加分累計	進捗 状況
山形県観光満足度(NPS)	目標値 (ポイント)	-	1.94	1.94	1.94	5.82	概ね 順調
	実績値 (ポイント)	20.88	2.72	0.00	2.90	5.62	
県外からの観光客数	目標値 (千人)	-	400	400	404	1,204	策定時を 下回る
	実績値 (千人)	19,800	410	△ 499	△ 8,662 (コロナ)	△ 8,751	
みなとオアシス酒田の主要4施設の総入込客数	目標値 (人)	-	35,052	35,052	35,252	105,356	策定時を 下回る
	実績値 (人)	629,844	△ 41,444	△ 5,928	△ 108,239 (コロナ)	△ 155,611	
山形県観光消費額	目標値 (億円)	-	300.00	300.00	200.20	800.20	策定時を 下回る
	実績値 (億円)	1,700.00	477.00	59.00	△ 887.00 (コロナ)	△ 351.00	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や、外国人の入国制限によるインバウンド需要の消失等の影響により、観光客数等が大きく減少した。今後は、引き続き外航クルーズ船の酒田港への寄港再開、定着化に向けて顧客満足度の高い受入態勢の整備に取り組むとともに、民間ノウハウを活用した港湾施設でのイベント開催等に取り組み、観光誘客を図る。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	ポストコロナを見据えた取組みを粘り強く実施していくことで、外航クルーズ船の寄港の定着化につながり、観光客数や消費額の拡大が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	庄内空港の利便性向上による地域産業振興・インバウンド誘客拡大等推進事業		
事業計画期間	令和元年度～令和3年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化	
事業の概要	庄内地域で唯一の高速交通手段である航空を、LCCによる新規路線就航(庄内＝成田線)により拡充することを起爆剤に、庄内地域が有する産業面及び観光面の強みを活かし、国内外の研究者の訪問機会増加による経済交流の拡大、インバウンドの拡大、さらには若年層等の新たな交流拡大を目指す。		
事業費(千円)	0	(うち交付金充当額)0	

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗状況
新規就航路線[庄内＝成田線] 搭乗者数	目標値 (人)	-	61,000	37,000	6,500	104,500	更なる取組みが必要
	実績値 (人)	0	48,896	△ 43,925 (コロナ)	△ 4,971 (コロナ)	0	
新規就航路線を含む庄内空港 の全搭乗者数	目標値 (人)	-	64,858	40,897	10,436	116,191	策定時を下回る
	実績値 (人)	385,804	33,001 (コロナ)	△ 336,296 (コロナ)	36,474 (コロナ)	△ 266,821	
外国人旅行者県内受入数	目標値 (人)	-	50,000	60,000	70,000	180,000	策定時を下回る
	実績値 (人)	190,639	198,289	△ 263,498 (コロナ)	△ 107,967 (コロナ)	△ 173,176	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、事業の核となる「庄内＝成田線」が運休となったため、当該路線の利用促進等に係る事業を中止した。今後は、既存路線「庄内＝羽田線」の利用回復や空港の認知度向上に向けた取組みを行うとともに、庄内空港ファンクラブの取組みを拡充し、航空便の需要喚起に取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	ポストコロナを見据えて、今後も庄内空港の活性化事業に粘り強く取り組むことにより、首都圏や海外との経済交流の活発化やインバウンド需要の拡大が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	飛島振興重点プロジェクト・飛島まるごと元気活性化事業		
事業計画期間	令和元年度～令和3年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成	地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展
事業の概要	山形県唯一の離島である「飛島」において、個性的で魅力的な地域資源を活かして観光交流や産業振興に取り組む若者達を、ソフト・ハード両面で支援することにより、飛島の基幹産業(観光業・漁業)の再生につなげるとともに、新たな雇用創出による若者の転入拡大を促進し、「飛島」の維持振興を図る。		
事業費(千円)	0	(うち交付金充当額)0	

### 2 重要業績評価指標(KPI)

※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
飛島観光客増加数	目標値 (人)	-	50	50	100	200	策定時 を下回る
	実績値 (人)	0	620	△ 5,068 (コロナ)	3,108 (コロナ)	△ 1,340	
飛島における新規雇用人数	目標値 (人)	-	0	0	0	0	達成
	実績値 (人)	0	1	1	2	4	
漁協環境整備検討会への参加者数(延べ人数)	目標値 (人)	-	30	20	0	50	達成
	実績値 (人)	0	30	28	0	58	
避難路現地踏査回数	目標値 (回)	-	4	3	3	10	達成
	実績値 (回)	0	2	4	5	11	

### 3 今後の方針等

R3年度は、R2年度より新型コロナウイルス感染症の影響から多少回復したものの、観光客数はコロナ禍前の水準に至らなかった。今後は、これまでの成果や課題等を踏まえ、次期離島振興計画(R5年度～R14年度)を策定し、引き続き飛島の維持振興に取り組む。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	ポストコロナを見据えた飛島ならではの観光振興施策を推進することにより、交流人口の拡大や若者の移住・定住の促進が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	新「世界の蔵王」プロジェクト		
事業計画期間	令和元年度～令和4年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化	
事業の概要	県内屈指の観光地である蔵王の再起をモデルケースとして、国内外からの観光誘客の促進、インバウンドをはじめとする交流拡大に向けた受入体制の整備、山形の魅力を活かした先導的ツアーの推進等により、観光客数や観光消費額の拡大に結びつける。		
事業費(千円)	21,915	(うち交付金充当額)10,957	

### 2 重要業績評価指標(KPI)

※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業によって開発した旅行商品の売上金額	目標値 (千円)	-	0	5,600	8,400	11,200	14,000	その他
	実績値 (千円)	0	0	1,713 (コロナ)	統計値 未発表	-	統計値 未発表	
本事業によって開発した着地型旅行商品への参加者数	目標値 (人)	-	0	360	540	720	900	その他
	実績値 (人)	0	0	229 (コロナ)	統計値 未発表	-	統計値 未発表	
蔵王における外国人宿泊者数	目標値 (千人)	-	0.00	0.50	0.75	1.00	1.25	策定時を 下回る
	実績値 (千人)	11.50	6.30	△ 17.50 (コロナ)	△ 0.20 (コロナ)	-	△ 11.40	
蔵王における山岳観光客入込数	目標値 (千人)	-	0.00	0.00	0.55	1.10	0.55	その他
	実績値 (千人)	200.00	△ 1.30	△ 99.70 (コロナ)	統計値 未発表	-	統計値 未発表	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルス感染拡大に伴う移動自粛等の影響により落ち込んだ観光需要の回復に向けて、第6回「山の日」全国大会の開催に合わせ、引き続き、蔵王を含めた県内全域の「やまがた百名山」の登山環境整備や情報発信等の受入態勢の整備を進め、蔵王を起点とした広域観光の推進に取り組む。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	山岳資源の魅力等を発信し、受入態勢を整備することにより、観光客数や消費額の拡大が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	IoT等の先端技術導入による中小企業の生産性向上推進事業	
事業計画期間	令和元年度～令和3年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	中小企業主体の本県産業界において、IoT・AI・ロボット等の先端技術の導入等を行うことにより、企業の生産性向上、IoT関連産業をはじめとする成長分野での取引・売上拡大、地域経済循環の向上を実現し、全国の地方産業における先導的なモデルケースとなることを目指す。	
事業費(千円)	143,893	(うち交付金充当額)71,947

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業により企業がIoT・ロボット等を導入した工程等で向上した生産性	目標値 (倍/社)	-	1.50	1.50	2.00	5.00	達成
	実績値 (倍/社)	0.00	1.64	1.50	2.63	5.77	
本事業により新たにIoT・ロボット等の導入に取り組む企業数	目標値 (社)	-	15	15	15	45	更なる取 組みが 必要
	実績値 (社)	0	7	12 (コロナ)	10 (コロナ)	29	
本事業による創業支援件数	目標値 (件)	-	65	65	70	200	達成
	実績値 (件)	0	70	73	62	205	
新たに研究開発プロジェクトに取り組んだ企業数	目標値 (社)	-	20	20	20	60	達成
	実績値 (社)	0	21	22	19	62	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルスの影響で県内事業者の設備投資意欲が減退したこと等により、IoT等に取り組む企業数は目標に達しなかったが、セミナー等の開催や県内産業支援機関のコーディネーターによる支援活動など、引き続き県内企業のIoT等導入・活用に係るきめ細かな支援を行っていく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	IoT等の先端技術の導入拡大を支援することにより、県内企業の労働生産性が向上し、県内産業全体の付加価値増大が期待できる。



## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	移住定住・人材確保戦略的展開事業	
事業計画期間	令和元年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み
事業の概要	移住定住・人材確保策を一体化・組織化し、「若者(特に子育て世代)」を主なターゲットに、本県への移住希望者一人ひとりのニーズに寄り添った質の高い移住定住・人材確保策を戦略的に展開し、県外からの移住者を拡大させ、人口減少要因の1/3を占める社会減少を抑制する。	
事業費(千円)	55,436	(うち交付金充当額)27,718

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業実施後における新規移住者数(県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した者)	目標値 (人)	-	600	700	800	900	1,000	2,100	概ね 順調
	実績値 (人)	0	387	672	914	-	-	1,973	
移住相談窓口(県及び市町村)への年間相談件数	目標値 (件)	-	750	600	400	400	400	1,750	達成
	実績値 (件)	0	3,792	2,608	2,961	-	-	9,361	
移住定住ポータルサイトトップページのアクセス件数	目標値 (件)	-	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	30,000	達成
	実績値 (件)	0	137,499	228,983	246,204	-	-	612,686	

### 3 今後の方針等

<p>新型コロナウイルスの感染状況が拡大局面であっても、オンライン相談会に切り替えるなどの取り組みにより、移住のマッチングにつながってきた。今後は対面での相談会も増えるが、引き続き、オンラインの利点を活かして相談機会を確保するとともに、きめ細かな相談対応とマッチングにより、移住実績へとつなげていく。</p>
--

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	県・市町村・産業界・大学等のオール山形で設立した法人のもと、移住定住・人材確保策を一体的・戦略的に展開することにより、移住者拡大、社会減少の抑制が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	雪を活かした交流拡大による地域活性化及び地域産業振興事業	
事業計画期間	令和元年度～令和3年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み
事業の概要	雪や雪に根差した伝統文化等を観光資源として磨き上げ、本県の雪の魅力の情報発信を強化し、併せて受入態勢の整備を図ることで、冬期間の交流人口の拡大に繋げる。また、ICTを活用した効率的な道路除排雪の実施など、多様な除排雪の試みを進め、冬季間のインフラを確保して住民の生命と財産を守る取り組みを進める。	
事業費(千円)	921	(うち交付金充当額)460

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
冬季間の観光入込み客数の年間構成比	目標値 (%)	-	0.0	1.0	1.0	2.0	その他
	実績値 (%)	10.0	△ 4.7	4.7	統計値 未発表	統計値 未発表	
雪害事故の発生件数(減少数)	目標値 (件)	-	0	6	6	12	策定時 を下回る
	実績値 (件)	170	156	△ 178	△ 2	△ 24	
県や市町村等の各種公的相談窓口を利用した移住者数	目標値 (人)	-	0	700	800	1,500	達成
	実績値 (人)	0	387	672	914	1,973	

### 3 今後の方針等

冬期間の観光客数の増加や移住者の増加に資するよう、雪国の地域資源のブランド化の取り組みを加速させるとともに、市町村と連携し、ICTを活用した道路除雪の効率化に取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	雪自体のイメージ向上、雪国の魅力発信、ICTを活用した除雪等に関する取り組みを実施することにより、冬季間の交流人口の拡大や安全・安心な雪国づくりにつながることを期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	「日本一美酒県 山形」推進プロジェクト		
事業計画期間	令和2年度～令和4年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	地域産業の振興・活性化と中小企業等の成長・発展	
事業の概要	県と県酒造組合、県ワイン酒造組合等の関係機関が連携し、国内外からのバイヤー招へいや展示商談会の開催、若者を対象とした新たな需要開拓などに取組み、国内外から高い評価を得て注目されている本県の日本酒・ワインを中心に、食品関係産業や伝統工芸・地場産業、観光産業など本県の魅力ある地域資源を活用・組み合わせた新たな価値を持った商品・サービスの創出や取引拡大を図り、地域社会・産業の活性化へと結びつける。		
事業費(千円)	6,112	(うち交付金充当額)3,056	

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
県産日本酒のうち純米酒及び吟醸酒(大吟醸酒、純米吟醸酒、純米大吟醸酒を含む)の出荷量(課税数量)の増(前年比1%増)	目標値(kl)	-	59.54	60.15	60.75	119.69	策定時を下回る
	実績値(kl)	5,954.10	△ 274.16 (コロナ)	△ 858.76 (コロナ)	-	△ 1132.92	
県産ワインの出荷量(課税数量)の増(前年比2%増)	目標値(kl)	-	26.02	26.55	27.08	52.57	策定時を下回る
	実績値(kl)	1300.95	37.63	△ 228.68 (コロナ)	-	△ 191.05	
県産日本酒の輸出量の増(前年比15%増)	目標値(kl)	-	74.96	86.20	99.13	161.16	策定時を下回る
	実績値(kl)	499.70	△ 44.21 (コロナ)	△ 7.99 (コロナ)	-	△ 52.20	

### 3 今後の方針等

<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響により酒の消費の落ち込みが続いているが、これ以上の落ち込みを防ぐべく、国内では消費が底堅い一般消費者向けの消費拡大イベントを強化する。また、海外ではアジア圏が伸長していることから、これらの地域を軸として商談会等を実施し、販路を拡大していく。</p>
---

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	コロナ禍においても、様々な取組みを粘り強く実施していくことで、本県の日本酒・ワインを中心とした魅力ある地域資源の認知度向上・販売拡大に結びつくことが期待される。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	観光デジタルマーケティングの推進による訪日外国人観光消費額の拡大事業	
事業計画期間	令和2年度～令和4年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化
事業の概要	経験と勘に頼った観光施策から脱却し、データに基づいた観光施策やその効果検証を行うことでPDCAサイクルの実行と確立を図り、国内外の観光客一人ひとりに対し、きめ細かな情報発信や着地型観光商品を提供することで農林水産業、商工業等との関連が深く経済波及効果の高い産業である観光産業の振興と観光消費の拡大を目指す。	
事業費(千円)	31,813	(うち交付金充当額)15,907

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
訪日外国人観光消費額	目標値 (百万円)	-	3,065	2,000	2,400	5,065	その他
	実績値 (百万円)	6,535	△ 1,609 (コロナ)	統計値 未発表	-	統計値 未発表	
データ分析結果を活用して開発・改良した観光商品の売上金額	目標値 (千円)	-	950	5,600	11,200	6,550	更なる取組みが必要
	実績値 (千円)	0	0 (コロナ)	0 (コロナ)	-	0	
県観光情報ポータルサイトを經由した宿泊予約成約件数	目標値 (件)	-	30	330	540	360	更なる取組みが必要
	実績値 (件)	0	2 (コロナ)	56 (コロナ)	-	58	
延べ外国人宿泊者数	目標値 (人泊)	-	55,540	34,000	40,000	89,540	策定時を下回る
	実績値 (人泊)	163,460	△ 76,020 (コロナ)	△ 70,780 (コロナ)	-	△ 146,800	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルス感染拡大による渡航制限や移動自粛などにより、観光需要が大幅に減少し、観光サイトのアクセス数やサイトを經由した宿泊件数も低迷した。今後は、コロナ禍においても旅行先として本県が選ばれるよう、デジタルマーケティングによる観光ニーズと誘客ターゲットの明確化やデジタルプロモーションの展開等により、認知度向上と旅行意欲の促進を図る。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	ポストコロナを見据え、データに基づいた効果的な観光施策を実施していくことにより、観光客数や消費額の拡大が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	プロフェッショナル人材を活用した中小企業成長戦略実現事業	
事業計画期間	令和2年度～令和4年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	プロフェッショナル人材戦略拠点の設置・運営により、企業へのプロフェッショナル人材のマッチングのほか、副業・兼業人材のマッチングを推進する。また、人材紹介業を実施する地方銀行や地域商社との連携や、信用金庫や信用組合との連携により副業・兼業人材を含めた人材のマッチングを実施する。さらに、中小企業のプロ人材確保に係る経費軽減支援、副業・兼業人材の旅費への支援を実施する。	
事業費(千円)	34,121	(うち交付金充当額)20,123

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数	目標値 (件)	-	52	52	52	104	達成
	実績値 (件)	150	112	100	-	212	
地域企業の経営課題に関する相談件数	目標値 (件)	-	210	210	210	420	達成
	実績値 (件)	611	239	219	-	458	
後継者不足・事業承継に対応した他の機関との連携件数	目標値 (件)	-	2	2	2	4	達成
	実績値 (件)	0	2	2	-	4	

### 3 今後の方針等

民間ビジネス事業者や金融機関等との連携を強化し、優れた人材の県内へのUIターンを促進していくとともに、よりきめ細かに副業・兼業人材の活用ニーズを掘り起こし、マッチングを支援していく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	専門的知識や高度な技術を持つプロフェッショナル人材の本県への還流が促進されることにより、中小企業の成長を促し、県内経済の活性化に寄与することが期待される。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	誰もが居場所と役割を持って生涯活躍できる地域コミュニティづくり推進事業		
事業計画期間	令和3年度～令和5年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保	県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
	政策	生涯を通じた多様な学びの機会の充実	多様な力の結集による地域コミュニティの維持・活性化
事業の概要	生涯活躍のまちの各要素(「交流・居場所」、「健康」、「活躍・しごと」、「人の流れづくり」)ごとに事業を展開し、誰もが居場所と役割を持って活躍できる地域コミュニティづくりを推進する。		
事業費(千円)	97,408	(うち交付金充当額)48,704	

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
地域運営組織数	目標値 (箇所)	-	17	14	12	17	達成
	実績値 (箇所)	33	34	-	-	34	
若者就職支援センターにおける 就職者数	目標値 (人)	-	10	10	10	10	更なる取 組みが 必要
	実績値 (人)	240	5	-	-	5	
市町村・企業等による健康づくり 事業への参加者数	目標値 (人)	-	10,000	10,000	10,000	10,000	策定時を 下回る
	実績値 (人)	150,000	△ 9,522 (コロナ)	-	-	△ 9,522	
地域活動に取り組む青年グルー プ数	目標値 (団体)	-	12	1	1	12	更なる取 組みが 必要
	実績値 (団体)	66	0 (コロナ)	-	-	0	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルス感染拡大により、健康づくり事業が一部中止又は規模縮小となったほか、地域活動が制限される等の影響があったが、今後は、デジタル技術を活用した地域づくり等、新しい観点での支援も行いながら、引き続き生涯活躍のまちの各要素ごとに事業を展開していく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	生涯活躍のまちづくりを構成する各種事業を推進することで、地域コミュニティの維持・活性化が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	「新しい山形の過ごし方」(県内資源の魅力を活かした滞在型観光)の提案によるインバウンド誘客促進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化
事業の概要	環境の変化に対応しつつ、広域周遊観光や長期滞在の促進、及びスポーツを通じた多様な交流を推進させるため、海外市場ごとの特性に応じた更なる認知度向上を図るとともに、山形の特徴や優位性を活かした「新しい山形の過ごし方」を提案し、観光消費額の拡大とインバウンド誘客の促進を目指す。	
事業費(千円)	41,652	(うち交付金充当額)20,826

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
外国人旅行者延べ宿泊者数	目標値 (人)	-	210,645	51,000	51,000	210,645	策定時を 下回る
	実績値 (人)	234,050	△ 217,390 (コロナ)	-	-	△ 217,390	
外国人旅行者受入数	目標値 (人)	-	350,035	71,000	71,000	350,035	策定時を 下回る
	実績値 (人)	388,928	△ 371,465 (コロナ)	-	-	△ 371,465	
訪日外国人観光消費額単価	目標値 (円)	-	77	1,000	1,100	77	その他
	実績値 (円)	28,923	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
外航クルーズ船寄港数	目標値 (回)	-	1	4	2	1	更なる取 組みが 必要
	実績値 (回)	0	0 (コロナ)	-	-	0	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルス感染拡大に伴う外国人の入国制限によるインバウンド需要消失等の影響により、令和3年度は一部事業が中止となった。今後は、インバウンドの段階的な回復に向けて、訪日旅行意欲の高いタイをはじめとする重点市場(台湾、中国、香港、韓国、ASEAN)からの誘客事業を展開するとともに、SDGs等の「新たな視点」に基づいたコンテンツの造成、販売等に取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	海外市場ごとの特性に応じた情報発信や、本県の特徴や優位性を活かした観光商品の造成等に取り組むことにより、インバウンド需要の拡大が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	デジタル技術を活用した幸せな地域づくり推進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	未来に向けた発展基盤となる県土の整備・活用
	政策	暮らしや産業の発展基盤となるICTなど未来技術の早期実装
事業の概要	福祉、産業、教育等を中心にあらゆる分野において、既にあるデジタル技術の活用や高度な技術開発に努め、県内に広く浸透させていく。また、人材の育成や県内外のフリーランス人材・副業人材の活躍により、県全体のデジタル・トランスフォーメーションを促進させ、働き方・暮らし方を大胆に見直し、その環境を整備する。	
事業費(千円)	18,611	(うち交付金充当額)9,305

### 2 重要業績評価指標 (KPI)

重要業績評価指標 (KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通じた、デジタル技術を活用した生産性向上や暮らしの質の向上に関する取組件数	目標値 (件)	-	10	10	10	10	達成
	実績値 (件)	77	14	-	-	14	
デジタル技術研修の受講者数	目標値 (人)	-	48	48	48	48	達成
	実績値 (人)	0	91	-	-	91	
本事業を通じた、デジタル技術を導入する訪問看護事業所の数	目標値 (件)	-	5	6	7	5	達成
	実績値 (件)	2	36	-	-	36	
ICT推進トッリーダーによる研修を受講した教員数	目標値 (人)	-	38	37	37	38	達成
	実績値 (人)	0	175	-	-	175	

### 3 今後の方針等

引き続きセミナーの開催等により県民への普及啓発やデジタル人材の育成に取り組むとともに、新たに県内外各地の好事例の横展開に向けたデジタル関連の情報発信プラットフォームを構築し、県内各分野でのデジタル化の推進に取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	県内各分野でのデジタル化を推進することにより、県民の生活の質や地域産業の生産性向上につながる事が期待できる。



## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	多様な「チカラ」の結集による総合的産業活性化事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	新たな販路開拓支援など地域の「稼ぐ力」の向上に向けた取組みや、創業・事業承継支援等地域産業の新陳代謝促進に向けた取組み、本県産業の担い手確保の取組みなどを一体的に進めることにより、産業イノベーションを支える多様な「チカラ」を結集させ、魅力的な産業が新たな人材を呼び込み、魅力的な人材が新たな産業を呼び起こす好循環を実現させる。	
事業費(千円)	107,289	(うち交付金充当額)53,645

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業を通して増加した県内大学・短期大学等卒業生の県内就職割合	目標値 (%)	-	0.30	0.33	0.37	0.30	策定時 を下回る
	実績値 (%)	0.0	△ 1.16	-	-	△ 1.16	
本事業を通じた県の支援による創業件数	目標値 (件)	-	5	13	20	5	達成
	実績値 (件)	0	7	-	-	7	
本事業を通して増加した県産品ポータルサイト「いいもの山形」掲載生産者数	目標値 (者)	-	3	5	6	3	達成
	実績値 (者)	0	4	-	-	4	

### 3 今後の方針等

<p>若者の県内定着・回帰に向けた取組みに関しては、大学等卒業生の県内就職割合が、コロナ禍初期において地元就職が強く志向された前年より低い割合となったため、若者の県内就職に向けた意識を更に醸成するため、県内企業の情報提供・魅力発信を強化していく。</p> <p>それ以外の取組みについては、産学官金の関係者との連携を更に密にし、スタートアップ創出の取組みを推進していくほか、県産品のブランドイメージの更なる向上・定着に向けて継続的に情報発信を行うとともに、販路開拓に取り組んでいく。</p>
---

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	若者の県内定着・回帰に向けた取組みや、創業支援及び事業承継支援、県産品の魅力向上に向けた取組みを実施することにより、多様な産業人材の確保や地域産業の活性化につながることを期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	バイオ関連産業エコシステム形成促進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	慶應先端研及びバイオベンチャーと県内企業との共同研究・共同開発及びその事業化を推進するとともに、共同研究の成果を事業化した場合の販路開拓等支援を行うことにより、産学官が連携してバックアップする仕組みを確立し、バイオテクノロジー産業を中心に地域経済が循環するエコシステムの形成を目指す。	
事業費(千円)	24,683	(うち交付金充当額)12,342

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業により慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発した製品・サービスのうち、事業化・製品化した件数	目標値 (件)	-	0	1	2	0	達成
	実績値 (件)	0	2	-	-	2	
本事業により共同研究を行った慶應先端研初バイオベンチャー及び県内企業における新規雇用者数	目標値 (人)	-	10	15	20	10	達成
	実績値 (人)	0	10	-	-	10	
慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、庄内地域以外の割合	目標値 (%)	-	7	7	7	7	達成
	実績値 (%)	47	30	-	-	30	
慶應先端研・バイオベンチャーと県内既存企業の共同研究・共同開発件数のうち、食品産業以外の産業の割合	目標値 (%)	-	4	4	4	4	達成
	実績値 (%)	24	30	-	-	30	

### 3 今後の方針等

慶應先端研及びバイオベンチャーと県内企業との共同研究・共同開発及びその事業化やバイオベンチャーの事業拡大に向けた販路開拓への支援を継続し、バイオテクノロジー産業を中心とした地域経済が循環するエコシステムの形成に向けて引き続き取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	共同研究・共同開発及びその成果による事業化・製品化に向けた取組みが着実に進捗しており、地域産業の活性化に寄与することが期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	がん地域医療次世代モデル構築推進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	国立がん研究センターや慶應先端研と連携してメタボローム解析技術を用いた研究の事業化を推進することにより、次世代地域医療モデルの構築を目指す。また、連携研究拠点の研究内容の周知拡大等の取組みにより、研究成果を活用した新たな産業の創出や、国内外の研究者等高度人材の集積、交流人口の拡大を図る。	
事業費(千円)	103,034	(うち交付金充当額)51,517

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
支援事業を通じた新たなサービス、製品の事業化数	目標値 (商品)	-	0	1	2	0	その他
	実績値 (商品)	0	事業効果の発現が R4以降の想定		-	効果の発現 が今後	
支援事業を通じた新サービス、新製品の事業化に伴う新規雇用者数	目標値 (人)	-	0	2	5	0	その他
	実績値 (人)	0	事業効果の発現が R4以降の想定		-	効果の発現 が今後	
次世代医療メタボローム解析データのデータベース登録数	目標値 (件)	-	100	200	300	100	達成
	実績値 (件)	0	119	-	-	119	
県内医療機関等とのがん治療等に関する連携(共同研究含む)数	目標値 (件)	-	1	1	1	1	達成
	実績値 (件)	0	1	-	-	1	

### 3 今後の方針等

<p>次世代地域医療モデルの構築に向けた共同研究は順調に進んでおり、また、遠隔診断や治療の実践と検証を行うための体制も整備されたことから、今後はより一層関係機関と連携して研究成果等を活用した事業化の推進に取り組み、地域産業の振興、雇用創出につなげていく。</p>
---

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	次世代地域医療モデルの構築に向けた共同研究が着実に進捗しており、その成果等の活用により、地域産業の活性化や起業、新規雇用の創出に寄与することが期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	他産業と連携した水産業の新たなバリューチェーン等の構築による漁村と内水面漁業地域の創生事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	付加価値の高い水産業の振興
事業の概要	収益性の高い経営体の確立や担い手の確保に向けて、水産業者の経営基盤の強化に取り組むとともに、未利用魚などを活用した「売れる」商品開発や「漁村体験型」の商品を開発や、水産物の安定供給に向けた蓄養、冷凍技術の高度化に取り組むことで、観光客や教育旅行を呼び込み、新たなにぎわいの創出を図る。	
事業費(千円)	28,191	(うち交付金充当額)14,094

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
支援事業を通じたトップランナー及び準トップランナーにおける海面漁業生産額の増加	目標値 (千円)	-	55,000	55,500	55,500	55,000	その他
	実績値 (千円)	0	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
支援事業を通じた蓄養による出荷額の増加	目標値 (千円)	-	2,000	2,600	3,300	2,000	更なる取 組みが 必要
	実績値 (千円)	0	1,368 (コロナ)	-	-	1,368	
養殖生産額(種苗等販売額を含む)	目標値 (千円)	-	17,000	17,000	17,500	17,000	その他
	実績値 (千円)	340,148	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
遊漁証の発行枚数	目標値 (枚)	-	950	1,000	1,000	950	更なる取 組みが 必要
	実績値 (枚)	0	753 (コロナ)	-	-	753	

### 3 今後の方針等

引き続き、水産業の成長産業化に向けて、漁業者グループ等の意欲的な取組みを市町村と連携して支援するとともに、蓄養の事業化及び普及拡大や、新規漁場及び新規資源開拓、広域漁場情報の活用等に取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	市町村と連携した水産業者の意欲的な取組みに対する支援や、漁業者等の加工・鮮度保持技術導入支援を行うことにより、水産業の人材育成・確保や、水産物の付加価値向上につながることを期待される。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	やまがたの未来を担う元気な農林業人材(ひと)づくりプロジェクト	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
事業の概要	地域農林水産業を支える多様な人材を広く確保・育成し、本県の基盤である農林水産業を活性化していくとともに、経営マインドや高度な経営・技術知識の習得やICT等の新技術導入により、生産性及び収益の向上を図り、将来を担う若者たちがチャレンジし希望の持てる農業環境づくりを進め、持続的に発展する農業県やまがたを目指す。	
事業費(千円)	133,314	(うち交付金充当額)66,656

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
山形県で農業を始めた若者及び女性 の人数(女性と30代以下の男性の 実人数)	目標値 (人)	-	32	45	58	32	達成
	実績値 (人)	235	35	-	-	35	
山形県への移住者で、農業を 始めた人数	目標値 (人)	-	11	12	13	11	更なる取 組みが 必要
	実績値 (人)	44	5 (コロナ)	-	-	5	
支援事業を通じた農業者当 たりの産出額	目標値 (万円)	-	15	17	17	15	その他
	実績値 (万円)	56	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
農業就業ポータルサイトのア クセス数	目標値 (件)	-	2,700	5,500	8,500	2,700	達成
	実績値 (件)	5,000	6,800	-	-	6,800	

### 3 今後の方針等

引き続き、市町村と連携して地域農業の生産性向上や女性農業者の活躍促進に向けた取組みを支援し、担い手の確保・育成に取り組むとともに、農林分野におけるデジタル技術等の導入をさらに拡大するなど、生産性及び収益向上に向けた取組みを進めていく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	農林業人材の確保・育成や、ICT等の新技術導入など生産基盤整備に取り組むことにより、地域農業の活性化や生産性及び収益向上につながる事が期待される。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	収益性の高い農業の展開と県産農産物等の付加価値向上推進事業	
事業計画期間	令和3年度～令和5年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	収益性の高い農業の展開
事業の概要	全国に誇る豊かな農林水産物と魅力ある地域資源の活用により、「農」「食」「地域」が相互に連携・協働することで新たな価値を創出し、「農林漁業者の所得向上」、「地域全体の所得・付加価値の向上」、「働く場の創出」を図るとともに、「農山漁村の活性化」の実現を目指す。さらに、県内唯一の重要港湾・国際貿易港である酒田港を利用した輸出を促進することにより、新たな海外市場の開拓、農家の所得向上等を図る。	
事業費(千円)	170,956	(うち交付金充当額)85,478

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
支援事業を通じた食品製造品販売額	目標値 (万円)	-	1,600	2,100	2,200	1,600	達成
	実績値 (万円)	0	3,663	-	-	3,663	
支援事業を通じた県産米の輸出額	目標値 (百万円)	-	24	24	24	24	その他
	実績値 (百万円)	0	統計値 未発表	-	-	統計値 未発表	
6次産業化に取り組む事業者のEC参入率	目標値 (%)	-	4.0	4.0	4.0	4.0	達成
	実績値 (%)	21.3	6.6	-	-	6.6	

### 3 今後の方針等

県産農産物の更なる利用拡大・付加価値向上に向けて、引き続き消費者ニーズに対応した商品開発と販路開拓・確保に取り組んでいく。また、荷主の負担軽減のための助成制度拡充や県内外の企業に対する積極的なポートセールスを展開し、酒田港を利用した輸出の促進に取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	農産物のブランド化や6次産業化の取組みの促進、輸出拡大に取り組むことにより、農産物の付加価値向上及び農林業者の所得向上につながる事が期待される。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	光と食でおもてなし！見て、食して、体感する～山形どまんなか冬季観光プロジェクト～		
事業計画期間	令和3年度～令和5年度		
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化	
	政策	国内外からの観光・交流の拡大による地域経済の活性化	
事業の概要	西村山地域の冬期間の観光誘客の改善と恒常的な人の流れを創出するため、イルミネーションを観光資源とした事業を展開するとともに、地域資源である「食」にスポットを当てた圏域外への情報発信を強化し、隣県及び県内からの観光客の増加を図る。また、観光誘客とまちの活性化による相乗効果を狙って創業支援や販売促進活動を行い、地域製品のブランド力強化を目指す。		
事業費(千円)	17,232	(うち交付金充当額)8,616	

### 2 重要業績評価指標(KPI) ※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
冬期間(1月～3月)の観光者数	目標値 (千人)	-	108.36	77.66	75.96	108.36	策定時を 下回る
	実績値 (千人)	1,066.90	△ 314 (コロナ)	-	-	△ 314	
道の駅の観光者数	目標値 (千人)	-	47.07	30.27	44.82	47.07	策定時を 下回る
	実績値 (千人)	1,620	△ 414 (コロナ)	-	-	△ 414	
圏域外に居住する関係人口の 人数	目標値 (人)	-	15	15	15	15	達成
	実績値 (人)	639	61	-	-	61	
宿泊者数	目標値 (人)	-	11,640	8,570	7,970	11,640	策定時を 下回る
	実績値 (人)	114,122	△ 7,382 (コロナ)	-	-	△ 7,382	

### 3 今後の方針等

県外を含めた一層の誘客を実現し、冬季観光客数の増を図るため、県内の他の冬季イベントやアクティビティ等を織り交ぜたPRに取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	本事業を通じた冬期間の観光振興及び観光需要の掘り起こしや、地域資源を活用したPRの実施により、冬期間の交流人口拡大につながる事が期待できる。

## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	山形県移住支援事業・マッチング支援事業、山形県地域課題解決型創業支援事業	
事業計画期間	令和元年度～令和6年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	次代を担い地域を支える人材の育成・確保
	政策	国内外の様々な人材の呼び込み
事業の概要	東京圏からの移住並びに本県産業への就業及び起業を後押しするための移住支援金を支給する移住支援事業、本県産業と就業者とのマッチングを支援するための求人情報を提供するマッチング支援事業を実施する。 併せて、地域の社会的課題の解決を目指す担い手を確保するため、社会的事業分野における起業家に対して起業支援金を支給する起業支援事業を実施する。	
事業費(千円)	17,262	(うち交付金充当額)8,631

### 2 重要業績評価指標(KPI)

※「(コロナ)」は新型コロナウイルスにより大きくマイナスの影響を受けたもの

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本移住支援事業に基づく移住就業者数	目標値 (人)	-	123	97	34	27	303	304	254	更なる取 組みが 必要
	実績値 (人)	0	1	5	15	-	-	-	21	
本移住支援事業に基づく移住起業家数	目標値 (人)	-	1	1	1	1	1	1	3	達成
	実績値 (人)	0	0	1	2	-	-	-	3	
本移住支援事業に基づく起業家数	目標値 (人)	-	3	3	3	3	3	3	9	更なる取 組みが 必要
	実績値 (人)	0	0	3	2 (コロナ)	-	-	-	5	
マッチングサイトに新たに掲載された求人数	目標値 (件)	-	1,000	100	100	100	100	100	1,200	更なる取 組みが 必要
	実績値 (件)	0	216	273	336	-	-	-	825	

### 3 今後の方針等

マッチングサイトへの幅広い業種、職種の求人登録に向けて、商工団体と連携しPRを強化するとともに、制度要件の緩和も含め、移住希望者への制度周知・浸透に努め、マッチングを強化する。創業支援ネットワークを活用し、一層の周知の推進、起業家の掘り起こしを進める。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	事業の実施を通して、東京圏からの移住や本県への就業の促進、地域の課題解決に資する新たな起業の創出が期待できる。



## 地方創生推進交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	女性・高齢者・障がい者新規就業支援事業	
事業計画期間	令和元年度～令和6年度	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	県民が安全・安心を実感し、総活躍できる社会づくり
	政策	県民誰もが個性や能力を発揮し、活躍できる環境の整備
事業の概要	県、山形労働局、関係団体等が官民連携のプラットフォームを形成し、各種助成金や各種相談窓口などの既存の仕組みも活用しながら、女性、高齢者、障がい者の新規就業者の掘り起こしから、受入れ企業における職場環境の改善、マッチング、伴走支援までを一体的に実施する。	
事業費(千円)	18,559	(うち交付金充当額)9,279

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	R5 増加分	R6 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
本事業により新規就業が実現した者の数 (新規就業者数)	目標値 (人)	-	160	170	170	200	200	200	500	達成
	実績値 (人)	0	315	373	470	-	-	-	1,158	

### 3 今後の方針等

<p>コロナ禍により、直接訪問する形での企業開拓が難しい状況となっているが、引き続き、様々な手段を検討し、女性、高齢者、障がい者の雇用環境の改善を促し、就業機会の増加に努めていく。</p>
--

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	女性・高齢者・障がい者の雇用拡大につながっており、産業振興のための潜在的な担い手の確保が期待できる。

## 地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	土地利用型作物スマート農業拠点棟整備事業	
事業計画期間	平成30年3月～平成31年3月	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
事業の概要	高品質・良食味米の安定生産を可能とするよりの確な生育診断を行うため、山形県農業総合研究センター内にスマート農業拠点棟を整備する。また、総合気象観測装置など新たに整備する機器で得られるデータを解析し、気象変動等に対応した高品質・良食味栽培体系を構築する。併せて、拠点棟内に整備した研修室を活用し、農業者に対しスマート農業の速やかな普及を図る。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
水稲の1日当たり所得	目標値 (円/日)	-	0	389	483	594	730	1,466	その他
	実績値 (円/日)	13,559	1,685	5,552	△ 2,737	統計値 未発表	-	統計値 未発表	
水稲の10a当たり労働時間の短縮	目標値 (時間/10a)	-	0.0	0.6	0.7	0.8	0.9	2.1	その他
	実績値 (時間/10a)	0.0	2.09	0.03	△ 0.45	統計値 未発表	-	統計値 未発表	
生育診断による山形県産米の食味ランキング「特A」の獲得品種数の増加	目標値 (数)	-	0	1	0	1	0	2	更なる取組みが必要
	実績値 (数)	2	0	0	1	△ 1	-	0	

### 3 今後の方針等

継続したデータの蓄積とその解析により、気象変動等に対応した高品質・良食味栽培体系を構築し、水稲農家の省力化、高収益につながるよう、更なる技術の普及に努める。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、高品質・良食味米の安定生産が期待できる。

## 地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	高温耐性・耐冷性検定拠点整備計画	
事業計画期間	平成30年3月～平成31年3月	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	収益性の高い農業の展開
事業の概要	高品質米の安定生産を可能とする高温耐性と耐冷性を兼ね備えた品種を、早急に育成するため、山形県農業総合研究センター水田農業研究所内に、より大規模な高温耐性検定施設と、より高性能な耐冷性検定施設を整備する。これら双方の施設を利用することで、より強い高温耐性とより強い耐冷性を兼ね備えた新品種の開発を迅速に行う。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
耐冷性及び高温耐性を兼ね備えた品種の育成数	目標値 (数)	-	0	0	0	0	1	0	その他
	実績値 (数)	0	事業効果の発現がR4以降の想定				-	効果の発現が今後	
水稻の10a当たりの収量	目標値 (kg)	-	0	0	2	5	5	7	達成
	実績値 (kg)	598	△ 18	47	△ 5	4	-	28	
水稻の一等米比率	目標値 (%)	-	0.0	0.0	0.0	1.0	1.0	1.0	策定時 を下回る
	実績値 (%)	94.0	1.0	△ 4.0	3.4	△ 0.5	-	△ 0.1	

### 3 今後の方針等

整備した施設を活用した新品種開発を手掛け、目標とするR4の品種育成を実現する。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、新品種の開発、高品質米の安定生産による収量増加が期待できる。

## 地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	乳製品加工施設整備計画	
事業計画期間	平成30年3月～平成31年3月	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	収益性の高い農業の展開
事業の概要	酪農の6次産業化を担う実践力を備えた人材育成を図るため、チーズ等の乳製品加工に係る基本的な製造技術の習得から商品化や販売・ブランド化までを一貫して学ぶ実践教育の体制づくりを進め、カリキュラムに基づく体系的な実践学習を行っていくための乳製品加工施設を整備する。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
乳製品加工施設を活用した農林大学の乳製品の売り払い収入額の増加	目標値 (千円)	-	0	120	264	300	60	684	概ね 順調
	実績値 (千円)	0	0	159	141 (コロナ)	291 (コロナ)	-	591	
乳製品加工施設を活用した学習、研修実施による乳製品加工技術者数	目標値 (人)	-	0	25	25	25	25	75	達成
	実績値 (人)	0	0	99	6	14	-	119	
本施設を活用した乳製品の開発・商品販売件数	目標値 (件)	-	0	1	1	1	1	3	達成
	実績値 (件)	0	0	1	1	2	-	4	

### 3 今後の方針等

新型コロナウイルスの影響で外部利用の減少が続いている状況にあるが、引き続き、乳製品加工施設を活用した新商品の開発を行うとともに、乳製品販売額や乳製品加工技術者の増加に取り組んでいく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、乳製品販売額や乳製品加工技術者の増加、乳製品の新商品の開発が期待できる。

## 地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	「園芸大国やまがた」の実現を支える園芸研究スマート拠点整備計画	
事業計画期間	平成30年3月～令和元年5月 ※事故繰越	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
事業の概要	「園芸大国やまがた」の実現を、技術開発の面でけん引し、本県の園芸に新たなイノベーション、生産性革命を起こす技術を開発するため、園芸農業研究所に、ICT化に対応した研究施設を整備するなど、研究拠点の機能強化を行う。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
長期貯蔵出荷されたぶどう「シャインマスカット」の量	目標値(t)	—	0.0	5.0	5.0	5.0	6.0	15.0	概ね 順調
	実績値(t)	14.0	△ 4.3	21.4	9.0	△ 13.8	—	12.3	
本県にあったスマート(次世代型)ハウスの導入箇所	目標値(箇所)	—	0	1	1	1	1	3	達成
	実績値(箇所)	2	0	1	1	1	—	3	
園芸試験場で新たに開発した品種(さくらんぼ「山形C12号」、食用菊「菊名月」)の導入面積	目標値(ha)	—	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	40.0	達成
	実績値(ha)	0.0	59.2	43.6	18.7	9.7	—	131.2	

### 3 今後の方針等

整備した施設を活用した技術開発を継続し、新技術の迅速な普及・導入を行い、生産者の技術向上、生産拡大を目指す。
--

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、長期貯蔵技術や生産性向上技術などの技術開発、県内への技術普及が期待できる。

## 地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	IoT製品評価センター(仮称)整備計画	
事業計画期間	平成30年10月～令和2年6月 ※事故繰越	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	高い付加価値を創出する産業経済の振興・活性化
	政策	IoTなどの先端技術の活用等による産業イノベーションの創出
事業の概要	山形県工業技術センターにIoT等の分野で今後の成長が見込まれる電子デバイスの高度化を図るため、①電波暗室やシールドルームといった電磁両立性を評価する施設設備等を整備し、試作品の評価、不具合解析をワンストップで支援し、品質確保、国際基準準拠、設計能力の強化・効率化を目指す技術支援体制を構築する。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額)—

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業の付 加価値額	目標値 (百万円)	—	0	0	10,000	10,000	10,000	20,000	その他
	実績値 (百万円)	209,700	7,816	△5,871	統計値 未発表	統計値 未発表	—	統計値 未発表	
工業技術センターの 支援による企業の製 品化実績数	目標値 (件)	—	0	0	5	5	5	10	達成
	実績値 (件)	40	0	0	4	18	—	22	
高度人材の育成数	目標値 (人)	—	0	0	30	30	30	60	達成
	実績値 (人)	0	0	0	173	16	—	189	

### 3 今後の方針等

webを使った研修や設備の遠隔使用等、今後も施設の利便性をさらに高めて、県内企業を支援していく。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、本県製造業のさらなる付加価値向上及び生産性向上が期待できる。

## 地方創生拠点整備交付金活用事業に対する評価(案)

### 1 事業概要

交付対象事業の名称	やまがたの園芸技術革新を実現する研究拠点整備計画	
事業計画期間	平成30年3月～令和2年3月	
総合戦略における位置づけ	政策の柱	競争力のある力強い農林水産業の振興・活性化
	政策	やまがたの農業を支える人材の育成と基盤形成
事業の概要	本県の強みである果樹のブランド力強化や、園芸品目の販売拡大、次世代型施設の導入等による園芸作物の生産拡大による「園芸大国やまがた」の実現を、技術開発の面でけん引し、本県の園芸に新たなイノベーション、生産性革命を起こす技術を開発するため、園芸試験場に研究開発棟などの拠点施設を整備する。	
事業費(千円)	—	(うち交付金充当額) —

### 2 重要業績評価指標(KPI)

重要業績評価指標(KPI)		事業開始前	H30 増加分	R1 増加分	R2 増加分	R3 増加分	R4 増加分	評価対象年度 (R3)までの 増加分累計	進捗 状況
施設整備によって向上した技術により増加した産出額(3品目:えだまめ、さくらんぼ、ぶどう)	目標値 (百万円)	—	0	300	400	700	900	1,400	その他
	実績値 (百万円)	49,400	4,300	△ 400	700	統計値 未発表	-	統計値 未発表	
施設整備によって向上した技術により増加した醸造用ぶどうの栽培面積	目標値 (ha)	—	0	15	20	25	40	60	その他
	実績値 (ha)	200	217	△ 27	統計値 未発表	統計値 未発表	-	統計値 未発表	
施設整備により開発したすいか超省力栽培技術の導入面積	目標値 (ha)	—	0.0	20.0	20.0	30.0	30.0	70.0	更なる取 組みが 必要
	実績値 (ha)	0.0	0.0	10.0	2.0	13.0	-	25.0	

### 3 今後の方針等

園芸品目での団地化が進んでいることから、開発された技術の更なる普及を進めるとともに、技術の改良を重ね、各品目の産出額や栽培面積の増加を図る。

### 4 評価

事業の評価	総合戦略のKPI達成に有効であった。
意見等	今後、同施設の活用により、園芸作物のブランド化やさらなる生産拡大が期待できる。